



目次

病診連携施設紹介「長田産婦人科クリニック」	1
看護部だより	2
職場紹介「放射線科」	3
ア・ラ・カルト「循環器科」	4
新任・転任のご挨拶	5
お知らせ「記念講演会のお知らせ」「重症心身障害病棟運動会」	6
作品募集・患者数	6
外来医師担当表・特殊外来ご案内・就職説明会	7

発行：独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会
発行責任者：長沼博文
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35
電話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>
Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp
携帯サイト用 QR コード



「重症心身障害病棟・夏祭り」

去る7月28日、当院の重症心身障害病棟グラウンドにおきまして、毎年恒例の夏祭りが行われました。今年も天候にも恵まれ、地域の小学生によるブラスバンド演奏や地元ダンスチームによる「じょいぞーらん」の演奏、さらには職員有志によるダンスユニット、盆踊り、花火と、盛りだくさんの演目により職員、患者さん、地域の皆様が一体となって、楽しい時間をすごしました。
(写真・文 管理課庶務係 山田 昌弘)



独立行政法人国立病院機構
甲府病院の理念

理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

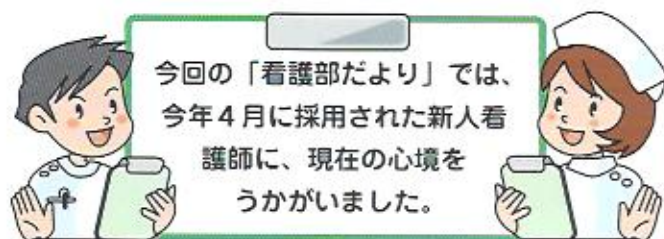
- 丁寧な説明に努めます
- 自己研鑽に励みます
- 職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします

病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

看護部だより

「新採用者の現在の心境」



今回の「看護部だより」では、今年4月に採用された新人看護師に、現在の心境をうかがいました。



看護師として働いて

2病棟 小椋 幸利

私の勤務している高度周産期医療センターには、未熟児や早産児、呼吸器疾患など様々な疾患で入院になる児がいます。はじめは看護処置や使用する物品が分からず、とても緊張しました。現在は行える技術も増えて、日々の勤務で患者さんを受け持たせていただくようになりました。しかし、泣いている児に対しての鎮静方法、1回のミルクの量をどの位あげたらいいのかなど、対応に戸惑うことも多くあります。

まだまだ分からないことも多いですが、先輩看護師の指導のもと自分自身で目標を明確に持ち、これからも頑張っていこうと思います。



看護師となり3カ月たって

3病棟 一瀬 愛実

今年の4月から3病棟の勤務となり、就職当初は分からないことばかりで戸惑うことが多くありました。また、仕事を早く覚えたいという思いと、実際には、思うように仕事が覚えられないというジレンマに悩んでしまうこともありました。

しかし現在は、分からないこともたくさんありますが、多くの先輩方に支えて頂き、就職当初よりは仕事に慣れてきました。今はまだまだ未熟な私ですが、確実な知識と技術を身につけ、患者さんに必要とされる看護師になれるよう、日々努力していきたいと思っています。



3ヶ月が経過して

4病棟 杉田 美希

4病棟で働き始めて半年が経ち、少しずつではありますが業務の手順や技術・知識が身に付いてきました。私は学生の頃に4病棟に実習に来させていただきました。その時に病棟の雰囲気がとても良く、明るい職場で私もこの職場で働きたい、成長させてもらいたい、と強く思ったので4病棟配属を希望しました。実際看護師として働いてみると右も左も分からず、分からないことだらけで、こんな自分でもやっていけるのだろうかと不安を感じていました。患者さんと毎日関わらせて頂く中で日々学ばせていただくことが沢山あり、患者さんに自分の名前を覚えていただき、「ありがとう」といわれた時は看護師になってよかったと思います。職場の先輩も優しく、時に厳しく丁寧に日々技術や知識を教えて下さり、日々勉強の毎日です。そして気の合う同期に支えられながら毎日楽しく、落ち込むこともありますが、患者さんや先輩、同期のみんなに励まされながら働いています。知識も技術もまだまだですが、パワー全開でこれからも頑張りますのでよろしくをお願いします。



重症心身障害病棟で働いて

6病棟 鹿野 ひとみ

重症心身障害病棟の6病棟に配属となり、看護師として働きだしてから3ヶ月半が経ちました。4月の頃は不安と緊張の毎日でしたが、今では病棟の患者さん、スタッフとも顔なじみとなり、この病院の一員だという自覚も出てきました。意思疎通の難しい重症心身障害の患者さんとのコミュニケーションや関わりも先輩看護師の対応や、アドバイスからも自分なりに行えるようになってきました。これからも、もっと患者さんと触れ合って信頼関係を築き、鋭い観察力の持てる看護師になりたいと思います。



重症心身障害病棟に勤務して

7病棟 上野 早百合

4月から重症心身障害病棟に勤務して3カ月がたちました。重症心身障害病棟の患者さんは言語的コミュニケーションがとれないことにより自分の訴えを他者に表現できない方が多く、就職して間もない頃は患者さんとのように接していいのかわかりませんでした。しかしながら、プリセプターの方や先輩方が親身に相談にのってくださり、今では患者さんと接することが楽しく感じています。重症心身障害病棟は人工呼吸器を装着している患者さんもいるため、アラームの対応など、まだ不安なこともあります。知識・技術を日々身につけながら頑張っていきたいと思っています。



3ヶ月を振り返って

8病棟 上杉 望

重症心身障害病棟に配属されて3ヶ月が経とうとしています。患者さんは自分の意思を相手に伝える事が困難なため、最初は何を訴えられているのか分からず、どのように接し、声をかけていけばいいのか分かりませんでした。しかし日々共に過ごしていく中で、患者さんの表情やしぐさなどから少しずつ訴えていることが分かるようになり、とてもうれしく感じています。これからは患者さん一人ひとりの個性を理解して接し、毎日楽しく仕事をしていきたいと思っています。



看護師として働いてみて

手術室 佐野 和平

病院に就職して、3ヶ月がすぎました。就職して間もない頃は、仕事に対する不安や実際に自分のできるのだろうかという戸惑いがありました。そんな中、職場の先輩方やプリセプターの方の熱心でわかりやすい指導のおかげで、自分のペースで仕事ができるようになりました。今では、職場の環境にも慣れて、責任ある一人の看護師として仕事に励んでいます。

今後、より職場のチームの一員として頼りにされ、信頼されていけるような人間になって行くために、毎日の学習の習慣や復習、また、尊敬する先輩方の看護の仕方を、いつでも自分のものにしていけるように日々取り組んでいきたいと考えています。

病 診 連 携 施 設 紹 介

「長田産婦人科クリニック ご挨拶」

長田産婦人科クリニック

院長 長田 孝明

平成12年より甲府市の相生で父の後を継ぎ、産婦人科を開業しております長田孝明と申します。開業当初は甲府市内だけでも10件を超える分娩取扱い産科開業医院が存在し、経営が成り立つのか微妙な情勢でありましたが、大学病院、研修先病院での臨床経験を活かし、自分なりの診療がしたいと開業を決意しました。それがたった10年で県内の産科を取り巻く状況は一変し、気がつくとも山梨県全体を見回しても9件の医院でしか分娩を取り扱



わない状況となっています。そうなると、やりがいばかり追求してはられません。地域貢献のため、県内の周産期医療を崩壊させないため、一日一善ならぬ、一日一分娩を自分の与えられたノルマと考え、その数をこなすべく日々奮闘しています。

とはいえ、リスクの少ない妊婦はいてもリスクのない妊婦は存在しません。正常産を数件介助するより、緊急帝王切開、母体大量出血、出生児の異常、といった正常と呼べない分娩一つを管理することのほうがはるかに大変であり、異常分娩は産科医一人では対処できないことも多いのです。幸いなことに、異常妊産婦は滝澤先生ら産婦人科の先生方が快く受け入れてくださいますし、分娩後、児に異常が生じれば久富先生をはじめとする小児科ドクターに昼夜を問わず助けてもらっています。この10年何とか大きなトラブルもなく診療を続けてこれたのも、国立病院機構甲府病院の先生、看護師、病院スタッフの方々のお陰であると深く感謝しております。一言で病診連携といっても、紹介状のやりとりだけでは、その病院の医師の顔が見えない分どうしても関係が希薄になってしまいますが、その点、巨大過ぎない規模の国立病院機構甲府病院の場合、各担当医師の顔が見え、

また当院のこともわかっていただけ、まさに理想的な病診連携を構築できているのではと嬉しく思っています。

未永くいい連携を保てればと願っています。今後ともよろしく願います。



外観

長田産婦人科クリニック

- 所在地：山梨県甲府市相生2-1-7
- 電話番号：055-233-0277 ■診療科目：産婦人科・婦人科
- 診療時間：月～木 9：00～12：00、14：30～17：15
金・土 9：00～12：00
- 休診日：日・祝休診

職場紹介

「放射線科」

副診療放射線技師長 滝澤 文男

当放射線科は、診療放射線技師六名、受付事務一名のスタッフで業務をおこなっております。放射線機器は一般撮影装置二台、透視撮影装置、C T撮影装置、M R I撮影装置、乳房撮影装置、血管撮影装置、核医学検査装置、骨塩定量測定装置などがあり、外科用イメージ二台、移動型撮影装置四台は、NICU 室、手術室などを中心に考慮しながら運用しております。各装置を簡単に説明しますと、C T撮影装置は、胸部撮影で写らない影も一呼吸止めているだけで小さな陰影も写し出すことが出来ますし、更にアキシャル画像のほか、サジタル画像、コロナル画像も容易に描出でき、診断能の高い画像を提供することが可能となっています。M R I装置は、騒音が極めて少なく、検査時間も以前よりも短いことから簡単に検査を受けられます。又、乳房撮影装置においては、撮影技術の向上により患者さんの負担も少なく、短時間で検査が可能になってきました。

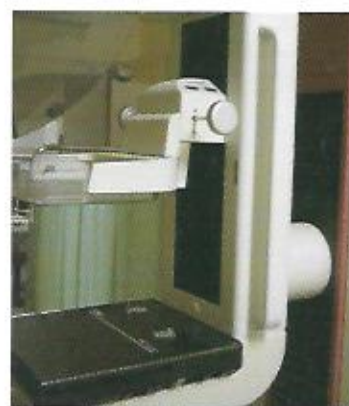
以上、一部紹介しましたが、当放射線科の目標である「地域に密着した医療」をめざし、スタッフ一丸となって取り組んでいます。今後も地域の皆様に信頼され、お役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。



■ C T 撮影装置



■ M R I 装置



■ 乳房撮影装置



新任のご挨拶

副診療放射線技師長 滝澤 文男

はじめまして。ご挨拶が遅くなりました。4月1日付けで高崎総合医療センターより昇任でまいりました、放射線科の滝沢です。山梨で生活するのは初めてですが、自然が豊かで食事も美味しく、更に温泉好きの私にとってこの地で生活するのがとても楽しみになりました。放射線科では、地域に密着した医療をめざしスタッフ一丸となって取り組んで来ています。地域の医療機関からも予約が来ていますが、まだまだといった現状であり、今後も地域の皆様に信頼され、お役に立てるよう一層の努力をしていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

アラカルト

「循環器科」

循環器科医長 葉袋 路子

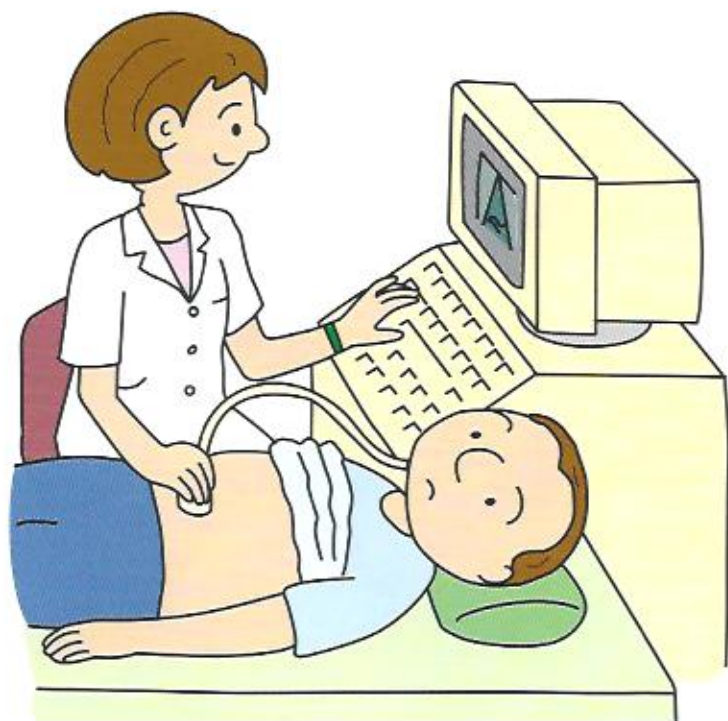
今年4月より着任致しました。循環器領域を担当させて頂いておりますが、これまで主に心エコー図検査に携わり、検査を通しての診断・治療効果の評価を行ってきましたので、今回は心エコー図検査について紹介したいと思います。

超音波とは、人間の耳に聞こえないほど高い周波数の音をいいます。エコー診断装置では、超音波のパルスを探触子を通して生体内に入射し、反射して戻ってきた超音波パルスを受信、様々な表示様式で表示器（テレビ画面のようなどころ）に組織の形状や血流方向を投影します。これにより病気の診断や、治療効果の判定を行うことができます。超音波は結石を破碎する治療に用いられることもあり、何やら恐ろしいイメージを持たれている方もいらっしゃるかもしれませんが、エコー診断装置で用いられるパルスは微弱なため一般的には人体には安全で、胎児から100歳以上のご高齢の方まで受けることができます。

臨床医学で応用されるようになったエコーの歴史は比較的浅く、1950年代以降で、金属の超音波非破壊検査を応用したのが始まりです。当初はAモードという1次元の表示法であり、パルスの進む方向にある物に反射して戻ってくる時間により、どのくらいの距離にどんな形のものがあるか、1次元のみですが知ることができました。いわゆる魚群探知機のようなものを想像して頂くとわかりやすいと思います。その後、

反射強度を輝度の濃淡で表し、組織などの断層描写が可能となったBモード、組織の一部の動きを時間軸で追うことの出来るMモード、血流速度の計測などが可能となったドプラ法などが開発されていき、現在では機能を備えた機種さえあれば誰でも簡単にリアルタイム3Dエコーもできるようになりました。

非侵襲で多くの情報が得られる心エコー図検査に惹かれ長く携わっていますが、未だに発見や驚異の人体に感動することも多く、楽しく検査を行っています。



新任・転任のご挨拶



臨床検査技師長 吉田 和浩

4月に国立病院機構災害医療センターより、研究検査科臨床検査技師長として着任いたしました。今回が6回目の転勤となりますがはじめての単身赴任であり、どうなることかと不安を感じながらの着任でしたが温かく迎えてくれた甲府病院の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。

甲府病院に勤務して3ヶ月となりますが、まだまだ学ぶことが多い毎日です。しかし、一日でも早く業務を掌握して病院理念の実現を目指し基本方針に沿った医療の提供ができるよう、検査科職員と共に努力してまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。



契約係長 田崎 憲祐

4月1日付けでまつもと医療センターより配置換で参りました田崎です。

山梨県とは縁もゆかりもなく、人生初の山梨生活です。『山梨の夏は暑い』と聞いていましたが、やはりその通りでした。松本市から来た者としてはこの暑さはかなり応えます。向こうは夜になると冷房無しでも快眠でしたが、ここは冷房無しではかなりきついです。

業務面では契約の仕事をやっています。初めての契約係長の業務にかなり四苦八苦しています。また病棟や外来、各部門等なにかとおじゃまするかと思ひますが、よろしくお願ひします。



副薬剤科長 吉田 誠也

本年4月、相模原病院からまいりました薬剤師の吉田です。山梨は富士五湖以外に訪れたことがなくどんな所か心配しておりましたが、ここ甲府の地は山梨の中心でありとても便がよく、歴史を感じさせる街でした。また自宅から単身赴任で移動するに当たり、道中で4月、勝沼の桜、沿線の桃、石和のバラなど季節によって花が咲き、眼を楽しませてくれています。皆様のお役に立てるようがんばりますので、薬についてわからないこと、疑問点がありましたらお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願ひいたします。



薬剤師 筒本 佳代

4月1日付でまつもと医療センター松本病院より赴任いたしました薬剤師の筒本と申します。天気の良い日は正面に富士山を眺めながら通勤し、地元である山梨県で仕事ができることをうれしく思っています。赴任して3ヶ月が経ち、新しい環境での仕事にもようやく慣れてきました。お薬を通して患者さんのお役に立てるように努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



療育指導室長 渡辺 俊武

4月1日付けで国立精神・神経センター病院より赴任しました。16年ぶりの甲府の地での勤務となりますが、利用者をはじめ、ご家族の方々、職員と、知った顔も見られ、少しホッとしているところであります。

療育指導室は、重症児者病棟とB型通園事業（ひまわり）、在宅支援（短期入所事業入院）を行っています。障害者自立支援法の下で、契約・措置入院の利用者に、いかに生き生きとした生活、適切なサービスが提供できるか、「生きる」から「よりよく生きる」ための支援をしていきたいと思ひます。



栄養管理室 主任栄養士 青野 千里

突然ですが、私何歳に見えますでしょうか？老け顔と言われ続け早〇〇年。こう見えても意外と・・・？答えが知りたい方はお気軽に声をかけて下さいね。老け顔の話はさておき、改めましてこの4月に西群馬病院より赴任致しました栄養士の青野と申します。群馬から山梨へ、また海は見られず・・・といった盆地巡りに勤しんでおります。果物の美味しい山梨、景色の美しい山梨、暑い山梨を存分に堪能したいと思っております。美味しい食べ物情報も絶賛受付中ですのでどうぞよろしくお願ひ致します！

お知らせ

国立病院機構甲府病院
スポーツ・膝疾患治療センター
開設3周年記念講演会
第1回 山梨スポーツ・膝疾患治療研究会

日時:22年9月4日(土) 15:30-17:30

会場:アビオ甲府 山梨県中巨摩郡昭和町西条3600

◇参加費:無料(事前申し込み不要)

医師、理学療法士などの医療従事者以外でも、中高大学・社会人チームの監督、選手をはじめ、興味のある方はどなたでも参加可能です。

開会挨拶 山梨大学 薬形外科学教室 教授 渡辺 浩孝 先生

座長:国立病院機構甲府病院 外科系診療部長 萩野 哲男 先生
【講演】15:40-16:20

『膝のスポーツ障害に対するスポーツ・膝疾患治療センターの取り組み』
日本体育協会スポーツドクター、山梨学院大学ラグビー部チームドクター
国立病院機構甲府病院 院長 落合 聡司 先生

【特別講演】16:30-17:30

『スポーツ現場での臨床スポーツ医学』

日本オリンピック委員会強化スタッフ、日本卓球協会ナショナルチームドクター
濃布院厚生年金病院 院長 森 照明 先生

閉会挨拶 国立病院機構甲府病院 院長 長沼 博文 先生

※本誌上、日本体育協会等の会員資格を以て記載しております。定例発行日(毎月15日)に発行いたします。本誌:国立病院機構甲府病院 スポーツ・膝疾患治療センター

記念講演会の開催の お知らせです。

この度国立病院機構甲府病院スポーツ・膝疾患治療センターの開設3周年を記念して、講演会、研究会を開催する運びとなりました。万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

国立病院機構甲府病院

スポーツ・膝疾患治療センター 萩野 哲男、落合 聡司



重症心身障害病棟

「22年度ふれあい大運動会」



H22年10月6日(水) 13:00~

15:30まで、重症心身障害病棟グラウンドで「平成22年度ふれあい大運動会」が行なわれます。

重症心身障害病棟の患者さん120名が、

はりきって秋の清々しい気候の中、体を動かします。

笑いや感動があります。よろしかったら、見学どうぞ!!



作品募集

本誌「てんじん」では、読者の皆様より川柳・絵画・写真を募集しています。

★宛先は

〒400-8533

山梨県甲府市天神町11-35

独立行政法人国立病院機構甲府病院

管理課 庶務係 山田

e-mail:yamada-m@nhokoufu.hosp.go.jp

まで宜しくお願いいたします。

※応募の際に寄せられた個人情報は他の目的には使用いたしません。

※他の人の著作権・肖像権を侵害する恐れのある作品は原則として掲載いたしません。また、その他編集上の都合により掲載されない場合があります。予めご了承ください。

平成22年度一日平均患者数

入院

※7月分及び年間累計は7月末日現在(小数点以下第2位は四捨五入)

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		99.9	91.6	90.2	94.5									93.8
重心		121.1	120.5	121.3	122.5									121.4
計		220.9	212.2	211.4	217.1									215.2

外来

※7月分及び年間累計は7月末日現在(小数点以下第2位は四捨五入)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	257.8	273.8	233.5	252.8									258.7

外来医師担当表

平成22年8月1日現在

		月	火	水	木	金	
一階 診察室	内科	1	渡 邊	10時～ 渡邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
		2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	呼吸器科 菱山	黒 澤
		3	川 口	循環器科 佐野		中 尾	太 田
		4	循環器科 葉袋	古 屋	古 屋	循環器科 葉袋	循環器科 葉袋
		5					
	特殊外来 午後3時～		渡 邊				
	外科	1	鈴 木	牧	角 田	鈴 木	牧
		2	浅 川			乳腺外来 高橋	可成外来 鈴木
	消化器科	1		稲 岡	稲 岡		
		2	澤 田	澤 田	澤 田		澤 田
3							
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野	渡 邊	渡 邊	萩 野	萩 野	
	2	千 賀	落 合	落 合	落 合	千 賀	
	3						
二階 検査室	内 視 鏡		稲 岡	大学講師	大学講師	澤 田	浅 川
	工 口	午前	大学講師		腹部 検査科 心臓 薬 葉袋		腹部 検査科
		午後				心 臓 葉袋	
二階 診察室	小 児 科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富
		専門外来1 (午後)	神 庭 畑	神 庭 中村	神 庭 神谷	第1・3階 小野	代 謝 内田
		専門外来2 (午後)	久富	久富			
	脳神経外科(2階旧泌尿器科外来)		長 沼		長 沼	長 沼	長 沼
	泌 尿 器 科			大学より (予約のみ)			
	産 婦 人 科	1	滝 澤	雨 宮	滝 澤	雨 宮	高 木
2		雨 宮	高 木	原	高 木	滝 澤	
3			原		妊婦 助産師外来	原	
眼 科		予約のみ 10時迄	地 場	地 場	地 場	地 場	
耳 鼻 咽 喉 科					矢 崎		

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)

●予防接種(小児科) 毎週木曜日(完全予約制)

●乳児健診 毎週 火・金曜日(完全予約制)

●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師

●人間ドック 毎週 火・木曜日 脳ドック 毎週 月・火曜日

特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。近親者に肝炎の方がいらっしゃるなど自分も肝炎にかかっているのでは、とご心配な方、健康診断で肝機能障害を指摘された方などは受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知症かな、と思ったら、受診されることをお勧めします。

◇平成22年度 看護職員就職説明会◇

平成22年度
看護職員就職説明会は
8月4日をもって終了しました。
採用ご希望の方は
下記までご連絡下さい。

申し込み
方法

*下記の電話番号に(土日休日以外)に直接ご連絡下さい。

連絡先

国立病院機構甲府病院 看護部
副看護部長 白川 由起子
TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5597